樫田です。  
  
下記説明が、科研出張の取り扱いについては、不十分だったことに気づきましたの  
で、補足します。  
ポイントは、「出張者本人か、能隅さんが、どこかのタイミングで、イントラに入力  
しないといけない」ということです。  
  
この点が、去年までと違います（去年までなら、書類を出すだけだったのですが、こ  
としは、イントラネットにアクセスして  
選択肢を選んで入力する、という業務が増えている訳です。  
  
なお、残念ながら、科研のイントラは、まだ動いていません。  
したがって、去年どおりの、出張依頼願い、の書面に、証拠書類をつけて、能隅さん  
に出して置けば、  
イントラが動くようになった時点で、能隅さんが、イントラネットにアクセスして、  
入力してくれます。  
（自分で直接、総務にもっていっても、総務はイントラネットにアクセスして、入力  
はしてくれません。そのまま  
放置してしまうと、まずいことになります）  
  
つまり、お勧めは、「科研出張であっても」書類をそろえて、能隅さんに出すことで  
す。  
あるいは、総務に先に書類を出した場合でも、能隅さんに、出張依頼願い、の控えを  
渡して、  
のちのちのイントラ入力を御願いしておくことです。  
  
以上、説明不足でしたので、補足させて頂きました。